

科目分類	看護専門科目（母子看護学）	開講時期	2年 通 年			
研究キーワード	文献検索・外国文献・和文献・研究計画・倫理的配慮・調査・分析・論文・考察					
科目名	母子看護学特別研究					
英 文	Research of Maternal and Child Nursing					
選択／必修	選択	単位数（時間数）	8単位	120時間	授業形態	演習
担当教員	交野 好子 ・ 阪口 しげ子 ・ 茂庭 将彦 ・ 吉川 由希子					
メールアドレス	y-katano@tsuruga-nu.ac.jp（交野） s-sakaguchi@tsuruga-nu.ac.jp(阪口) n-moniwa@tsuruga-nu.ac.jp（茂庭） y-yoshikawa@tsuruga-nu.ac.jp（吉川）	オフィスアワー	随時相談に応じます。 事前にメールでお知らせ下さい。			

授業目的	研究プロセスにそって、計画的に研究を進め、修士論文を作成する。
授業概要	<p>授業目的を達成するため、母子看護学分野を担当する全教員および母子看護学分野を専攻した全学生の参加による組織的・集団的研究指導体制のもとで特別研究の遂行を目指す。</p> <p>母子看護学の特論および演習を踏まえて、母子看護学のこれまでのケアの理論や技術を再確認し、エビデンスに基づく新たな援助方法の開発など、ケア向上のための研究を行う基礎的能力を習得する。</p> <p>母子看護学演習で学んだ課題の展開方法を活用し、学生個々の課題を系統的に探究する。</p> <p>本授業において学生は、自己の研究進捗状況をプレゼンテーションし、ディスカッションを通して情報交換を行い、教員はそれぞれ専門の学際的立場から助言・指導・教育を行うことにより、学生の特別研究の円滑な遂行に繋げる。</p>

<p style="text-align: center;">授業計画</p>	<p>第1回 ガイダンス 合同①</p> <p>第2・3回 文献・医療現場における問題点・社会的問題・学生の臨床経験などから Research Question を探索 合同②</p> <p>第4～7回 文献検索などから研究課題を明確にし、研究方法を決定する</p> <p>第8・9回 文献レビューのプレゼンテーション 合同③</p> <p>第10～14回 研究計画書作成</p> <p>第15・16回 研究計画書のプレゼンテーション 合同④</p> <p>第17・18回 研究計画書修正</p> <p>第19～21回 研究倫理審査申請書作成</p> <p>第22・23回 研究倫理審査申請書のプレゼンテーション 合同⑤</p> <p>第24・25回 研究倫理審査申請書を修正し、倫理審査委員会に提出</p> <p>第26～30回 研究計画に基づいてデータを収集し分析</p> <p>第31・32回 データ分析のプレゼンテーション 合同⑥</p> <p>第33・34回 データ分析の修正</p> <p>第35～39回 結果の文章化と図表作成 合同⑦</p> <p>第40～43回 結果の文章と図表の修正</p> <p>第46～49回 結果の考察</p> <p>第50・51回 考察のプレゼンテーション 合同⑧</p> <p>第52～58回 研究論文の作成</p> <p>第59・60回 論文発表会 合同⑨</p>
<p style="text-align: center;">教材 参考文献等</p>	<p>必要時提示する</p>
<p style="text-align: center;">成績評価 基準・方法</p>	<p>論文内容 100%</p>
<p style="text-align: center;">履修要件</p>	<p>母子看護学分野の特論、演習を履修していること</p>
<p style="text-align: center;">関連科目</p>	<p>研究方法論、母性看護学特論、周産期治療看護学特論、小児看護学特論、母子看護学演習</p>
<p style="text-align: center;">留意事項 その他</p>	<p>本授業は、個人の特別研究が円滑に遂行されることを目的に、複数の学生と複数の教員で進めるグループ（小集団）学習です。本学習での有意義なディスカッション・情報交換を通して学際的視点を有した柔軟な思考を培い、特別研究の遂行に役立ててください。</p> <p>自主的・意欲的に研究に取り組まれることを期待します</p>